



ネット際で激しい攻防を繰り広げる選手たち

## 180人がコート上で熱戦

### 市9人制バレーボール大会

市9人制バレーボール大会兼第31回榎谷杯バレーボール大会が12月9日、市民体育館でありました。柳川クラブの初代監督で市バレーボール協会副会長を務めた榎谷卯一さんの功績をたたえるこの大会には、県内外から男女あわせて14チーム約180人が参加。会場には「ナイスサーブ」「オーライ」など、選手の声が響いていました。大会の結果、市内のチームでは、男子の部に出場した柳川クラブが準優勝し、地元の意地を見せました。

## 子どもは親の背を見て育つ

### 市乳幼児教育講演会「気楽にCHA・CHA・CHA」

子育ての悩みや不安を抱える人に聞いてもらおうと、市乳幼児教育講演会が12月11日、三橋公民館で開催されました。福岡市で子育て応援情報誌を発行する(株)フラウ代表取締役社長の濱砂圭子さんが、「地域をリサーチできる子育て中こそ、子育てしやすい環境にする『チャンス』『チェンジ』『チャレンジ』ができる」と熱弁。濱砂さんが子育てをしながら活動してきたことやユーモアを交えた講演に、参加者は熱心に聞き入っていました。



親は地域でたくさん活動してほしいと説く濱砂さん

# 市民のひろば

身近な話題などお知らせください！  
情報をお待ちしています

## おいしい新のり好評

### 両開漁協「新のりフェア」

両開漁業協同組合は、12月15日と16日に新のりフェアを開催しました。有明海で採れた福岡のりを広くPRして、のりの消費を促進する目的で今回初めて実施。新のりを使った乾のりやのり佃煮などの販売、同組合女性部手作りのおにぎりの無料配布などを行いました。市外からの来場者も多く、準備した乾のりはすぐに完売するほど好評。同組合参事の笠間幸吉さんは、「予想を上回る来場者と売れ行きで驚いています。福岡のりのPRのためにも、今後も続けていきたいですね」と語りました。



来場者は乾のりや佃煮などを買って求めていた

## よい新年となるよう心込める

### 注連縄研究会が宮地嶽神社のしめ縄を新調

隅町にある宮地嶽神社のしめ縄の取り替え作業が12月16日に行われました。取り替えたのは拝殿と山門にあるしめ縄で、長さは拝殿が約5m、山門が約6m。南矢ヶ部地区の住民で立ち上げた注連縄研究会が、3年前からボランティアで行っています。約2か月かけて制作した新しいしめ縄は、同研究会と同神社奉賛会で作業にあたりました。同研究会会長の竹田卓己さんは「真心を込めて作ったしめ縄です。多くの方が参拝に来て、気持ちよく新年を迎えてもらえれば」と話しました。



足場を組んで慎重にしめ縄を取り付けた

## 年末年始の犯罪や事故をなくそう

### 豊原校区で防犯、交通安全を呼びかけ

豊原小学校で12月14日、豊原校区の防犯、交通安全のための集会がありました。安全安心まちづくりの一環として、例年、各団体や地域住民などが協力して校区内を練り歩く防犯・交通安全パレードを行っています。しかし、今回はあいにくの雨で屋内で実施。パレードのために鼓笛の練習を重ねてきた同校の5、6年生が、集まった地域住民に演奏を披露しました。この後、柳川警察署の田仲英明生活安全課長が防犯や交通安全についての講話を行い、参加した地域住民は熱心に聞き入っていました。



豊原小学校5、6年生が鼓笛の演奏を披露

## 水も人もキラリ 川柳

### 今月の入選作品 課題「新春雑詠」

#### 篝火の火の粉きらめく初詣で

野片義博(隅町)

初詣、かがり火が時々爆ぜて参道を照らす。きらめく火の粉は開運の吉兆かも知れぬ。踏みしめる玉砂利の音も小気味よい。新年への願いは結局、家族の健康一つ。そして世界の平穏と平和を合わせた両手で包み込み新年の始まり。今度も次代を担う中島小学校から数多くの投稿が寄せられた。

流青

- 水雪をのりこえていま初日の出
- 年があけさくらのつぼみもじゅんぴ中
- またすこし大人のいかだんのぼつてく
- 真つ白き布巾着に年明けける
- 朝風呂でシャワーの音にも新年が
- 梵鐘の音が新年連れて来る
- 初風呂や湯気は朝日に煌めいて
- み飾り孫も大人の仲間入り
- 新らしき明日を信じ脱皮する
- 鬼すべにこの世打ちたき鬼ばかり
- ポジティブに生きると誓う初もうで
- 初春の一步踏み出す新草履
- また一人家族が増えてお正月
- 新しい句帳に燃える老いの春
- 老二人年改まる栗の箸
- 今年こそ何回言えは夢叶う
- 大鍋に自慢のガメ煮三が日
- 新年の訪れ知らず春の海
- 羽子板の音込み上げて来る昭和
- ひしひしと格差感じる師走かな
- 健やかを授かり歩く年新た

川柳を募集しています。選句者は梅崎流青さん。2月の課題は「飛ぶ」です。入選作品は2月1日号に掲載します。

●応募方法 川柳と明記し、自作、未発表の作品(※1人3句以内)に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスマまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係(☎77・8425、FAX74・5520)へ、1月15日(※必着)までにお送りください。

父今も風が飛ばした帽子追う

流青